

道路空間の安全性・快適性の向上に関する研究

中村俊行 (2001年4月～2003年3月) *1
大西博文 (2003年4月～2003年6月) *2
恒岡伸幸 (2003年7月～2005年3月) *3
時政 宏 (2005年4月～) *4

Research for Improving Safety and Amenity in Road Space

Toshiyuki NAKAMURA (2001.4～2003.3) *1
Hirofumi ONISHI (2003.4～2003.6) *2
Nobuyuki TSUNEOKA (2003.7～2005.3) *3
Hiroshi TOKIMASA (2005.4～) *4

概要

道路を取り巻く社会環境をみれば、依然厳しい状況にある交通事故件数・死傷者数、本格的高齢社会の到来、ノーマライゼーションの考え方の浸透、道路に対するニーズの変化・多様化などが見えてくる。道路空間では、これら社会環境の変化に対して安全性のレベルを向上していく必要があり、また一方で、道路利用者の変化やニーズの変化・多様化に対応しつつ、より一層の快適性が提供されなければならない。このため、国土技術政策総合研究所道路研究部では、平成13年度から16年度の4年間に、プロジェクト研究「道路空間の安全性・快適性の向上に関する研究」を実施した。本報告は、その研究成果をとりまとめたものである。

キーワード：道路空間、交通安全、交通事故、交通安全対策、交通安全施設、人間特性、バリアフリー、生活道路、道路空間再構築、道路景観、自律移動支援

Synopsis

A number of traffic accidents and casualties, the coming of aging society, the spread of the concept of normalization and change/diversification of need for road can be seen in social environment in Japan. In road space, it is necessary to improve a level of road safety in spite of the change of social environment. And it is also important to provide more comfort for road users as well as to respond to the change of them. For these points, the Road Department of NILIM held a project research titled "Research for Improving Safety and Amenity in Road Space" during four years from 2001 to 2004. The results of research are summarized in this report.

Key Words: Road space, Road safety, Traffic accident, Countermeasures for road safety, Facilities for road safety, Human characteristics, Barrier-free, Roads for daily use, Reallocation of road space, Road scene, Free mobility assistance

- | | | |
|----------------|--------------|---|
| * ¹ | 前道路研究部長 | Former Director, Road Department |
| * ² | 道路研究部長 | Director, Road Department |
| * ³ | 前道路研究部 道路研究官 | Former Research Coordinator for Road Affairs, Road Department |
| * ⁴ | 道路研究部 道路研究官 | Research Coordinator for Road Affairs, Road Department |

はじめに

道路交通や道路空間を取り巻く社会環境の状況や変化をみれば、依然厳しい状況にある交通事故件数・死傷者数、本格的高齢社会の到来、ノーマライゼーションの考え方の浸透、道路空間を有効活用したいという道路に対するニーズの変化・多様化、投資余力の減退などが見えてくる。道路空間では、これら社会環境の変化に対して安全性のレベルを向上していく必要があり、また一方で、道路利用者の変化やニーズの変化・多様化に対応しつつ、より一層の快適性が提供されなければならない。そのためここでは、「道路空間の安全性向上に関する研究」と「道路空間の快適性向上に関する研究」を2つの大きな柱に、平成13年度から16年度の4年間にプロジェクト研究「道路空間の安全性・快適性の向上に関する研究」として研究を実施し、また研究成果を施策へと反映することを通じて、道路空間の安全性・快適性の向上を現実的なものとしていくことを目標とした。

「道路空間の安全性向上に関する研究」に関しては、近年交通事故死者数は徐々に減少する傾向にあるものの平成17年には6,871人の人が交通事故で命を落としている状況や、交通事故件数、死傷者数については昭和52年以降の増加により近年では1年間に交通事故件数が100万件弱、死傷者数が120万人弱に達する状況、さらには高齢者が関わる交通事故の増加傾向などから、今後一層安全な道路環境の整備に努めていく必要がある。そのためここでは、交通事故削減に向けて、交通事故の分析と対策の立案、交通安全対策の効率的な展開に向けた仕組みづくりなど、各種の方策について研究を実施した。

「道路空間の快適性向上に関する研究」に関しては、人口の少子・高齢化を受けた道路利用者の変化やニーズの変化・多様化などから、道路整備に際しては自動車中心から人中心へ道路政策を転換していくべき状況や、道路利用者の様々な要望に対して道路空間で適切に対応を図っていく必要がある。このような観点に対し、今後は、歩行者空間のバリアフリー化、生活道路の快適性向上、道路空間の再構築、道路景観の形成・保全などの、道路空間の快適性を向上する諸施策を展開していく必要がある。ここでは、これらの施策を支える各種方法や事例に関する研究、道路技術基準類の見直し、歩行者等への情報提供のためのシステムの技術仕様等に関する研究を実施した。

本報告は、以上に示したような研究で構成されるプロジェクト研究「道路空間の安全性・快適性の向上に関する研究」の成果をとりまとめたものである。本研究成果の中には、「交通事故対策評価マニュアル」や「歩道の一般的構造に関する基準」などとして、既に、施策に反映され道路事業を実施する際に参考とされているものもある。また一方で、より道路空間の安全性・快適性を高めるべく、さらなる研究を継続的に実施していくべきものもある。本報告でとりまとめたプロジェクト研究の成果を、道路空間整備の現場において参考としていただければ幸いである。

平成18年2月

道路研究部道路研究官

時政 宏

プロジェクト研究実施者名簿

担当分野	所属・役職	氏名	担当期間
プロジェクトリーダー	道路研究部長	中村俊行	2001.4～2003.3
	道路研究部長	大西博文	2003.4～2003.6
	道路研究部道路研究官	恒岡伸幸	2003.7～2005.3
研究総括	道路空間高度化研究室長	森 望	2001.4～2005.3
道路空間の安全性向上に関する研究			
交通安全対策の効果分析	道路空間高度化研究室研究官	鹿野島秀行	2001.4～2002.3
	道路空間高度化研究室研究官	田村 央	2002.4～2003.3
	道路空間高度化研究室研究官	池田武司	2002.4～2005.3
	道路空間高度化研究室交流研究員	宮下直也	2003.4～2005.3
事故と道路構造との関係	道路空間高度化研究室研究官	鹿野島秀行	2001.4～2002.3
	道路空間高度化研究室研究官	田村 央	2002.4～2003.3
	道路空間高度化研究室研究官	池田武司	2002.4～2005.3
	道路空間高度化研究室交流研究員	宮下直也	2003.4～2005.3
ヒヤリ事象の活用	道路空間高度化研究室主任研究官	高宮 進	2001.4～2005.3
	道路空間高度化研究室研究官	鹿野島秀行	2001.4～2002.3
	道路空間高度化研究室研究員	若月 健	2001.4～2003.3
	道路空間高度化研究室研究官	池田武司	2002.4～2005.3
交通安全施設の改良	道路空間高度化研究室主任研究官	安藤和彦	2001.4～2004.5
	道路空間高度化研究室研究員	若月 健	2001.4～2003.3
	道路空間高度化研究室交流研究員	林堅太郎	2001.4～2003.3
	道路空間高度化研究室研究官	池原圭一	2003.4～2005.3
	道路空間高度化研究室交流研究員	河合 隆	2003.4～2005.3
	道路空間高度化研究室研究員	囊島 治	2004.4～2005.3
交通安全対策展開の効率化	道路空間高度化研究室主任研究官	池田裕二	2002.4～2003.3
	道路空間高度化研究室主任研究官	村田重雄	2003.4～2005.3
	道路空間高度化研究室交流研究員	宮下直也	2003.4～2005.3
人間特性、高齢者特性の把握と対応	道路空間高度化研究室主任研究官	高宮 進	2001.4～2002.3
	道路空間高度化研究室主任研究官	安藤和彦	2002.4～2004.3
	道路空間高度化研究室研究員	若月 健	2001.4～2003.3
	道路空間高度化研究室研究官	池原圭一	2003.4～2004.3
	道路空間高度化研究室交流研究員	堤 敦洋	2003.4～2005.3
	道路空間高度化研究室研究官	池田武司	2004.4～2005.3
道路空間の快適性向上に関する研究			
歩行者空間のバリアフリー化	道路空間高度化研究室主任研究官	高宮 進	2001.4～2005.3
	道路空間高度化研究室交流研究員	宮下直也	2003.4～2005.3
生活道路の快適性向上	道路空間高度化研究室主任研究官	高宮 進	2001.4～2005.3
	道路空間高度化研究室交流研究員	堤 敦洋	2003.4～2005.3
	道路空間高度化研究室交流研究員	中野圭祐	2004.4～2005.3
道路空間再構築	道路空間高度化研究室主任研究官	高宮 進	2001.4～2003.3
道路景観の形成・保全	道路空間高度化研究室主任研究官	高宮 進	2004.4～2005.3
	道路空間高度化研究室交流研究員	中野圭祐	2004.4～2005.3
自律移動支援	道路空間高度化研究室主任研究官	池田裕二	2001.4～2003.3
	道路空間高度化研究室交流研究員	田澤光治	2001.4～2002.3
	道路空間高度化研究室主任研究官	村田重雄	2003.4～2005.3
	道路空間高度化研究室交流研究員	河合 隆	2004.4～2005.3
	道路空間高度化研究室交流研究員	中野圭祐	2004.4～2005.3

プロジェクト研究とりまとめ担当者名簿

所属・役職	氏名
道路研究部道路研究官	時政 宏
道路研究部道路空間高度化研究室長	岡 邦彦
道路研究部道路空間高度化研究室主任研究官	高宮 進
道路研究部道路空間高度化研究室主任研究官	瀬戸下伸介
道路研究部道路空間高度化研究室研究官	池原圭一
道路研究部道路空間高度化研究室研究官	池田武司
道路研究部道路空間高度化研究室研究員	蓑島 治
道路研究部道路空間高度化研究室交流研究員	近藤久二
道路研究部道路空間高度化研究室交流研究員	犬飼 昇
道路研究部道路空間高度化研究室交流研究員	中野圭祐